

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定にあたってのアンケート調査結果

平成 28 年 3 月

川 越 市

目 次

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたってのアンケート調査結果

1 調査概要	1
(1) 目的	1
(2) 調査内容、期間、方法	1
(3) 回収結果	1
2 集計結果	2
(1) 回答者について	2
(2) 結婚や出産、子育てについて	8
(3) 就職、転職、再就職・起業の意向について	15
(4) 住まいに関する意向について	21
(5) その他自由意見	31
アンケートの調査票	33

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたってのアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 目的

「川越市人口ビジョン」及び「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、人口減少期を見据えた自然増減や社会増減への対応方向を見定めつつ、本市の将来像や基本目標、施策を検討する際の基礎資料とするため、市民の結婚や子育てに関する意向、仕事に関する意向、住まいに関する意向について把握・分析することを目的にアンケート調査を行った。

(2) 調査内容、期間、方法

① 調査内容

- ・結婚や子育てに関する意向、仕事に関する意向、住まいに関する意向について

② 調査期間

- ・平成 27 年 6 月 11 日（木）発送 平成 27 年 6 月 24 日（水）締切

③ 調査方法

ア 調査対象

- ・15～49 歳の男女 3,000 人（外国人を含む）

イ 抽出方法

- ・住民基本台帳に基づき市内 12 地域の人口割合に応じて無作為に抽出

ウ 調査方法

- ・郵送による配布、回収（無記名回収）

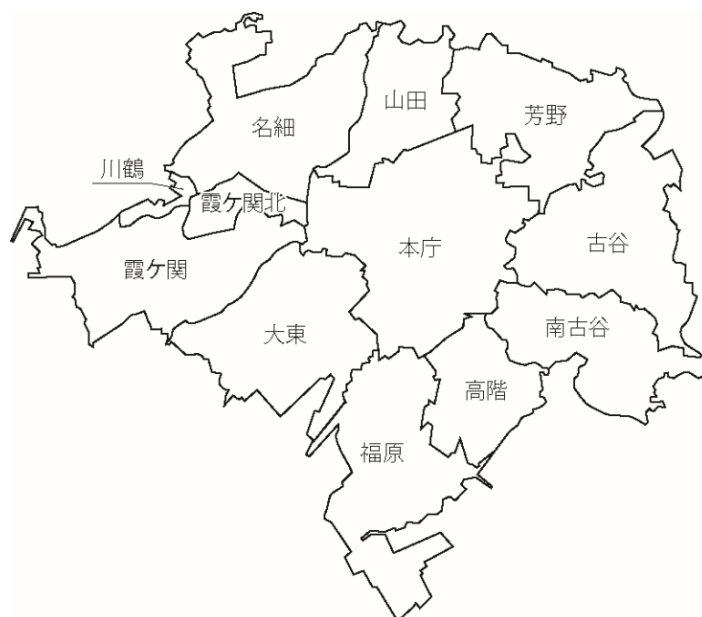
(3) 回収結果

- ① 標本数 3,000

- ② 回答数 1,307（回収率 43.6%）

地域別の配布数、回答数、回収率は下表のとおり

	配布数	回答数	回収率
市内全域	3,000	1,307	43.6
本庁	894	368	41.2
芳野	51	19	37.3
古谷	96	35	36.5
南古谷	209	100	47.8
高階	443	189	42.7
福原	172	76	44.2
大東	296	122	41.2
霞ヶ関	273	135	49.5
霞ヶ関北	153	64	41.8
名細	261	99	37.9
山田	101	53	52.5
川鶴	51	20	39.2
無回答		27	



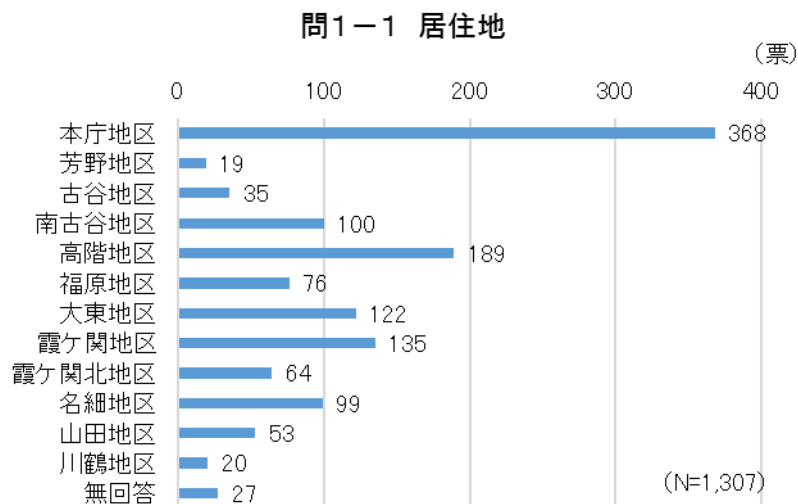
2 集計結果

(1) 回答者について

問1-1 あなたの居住地

アンケート票の配布は、地区別の人口割合に応じて行っており、本庁や高階、大東、霞ヶ関など居住者の多い地区には、アンケート票を多く配布している（前頁参照）。回収率は、どの地区も30%台～50%台となっている。

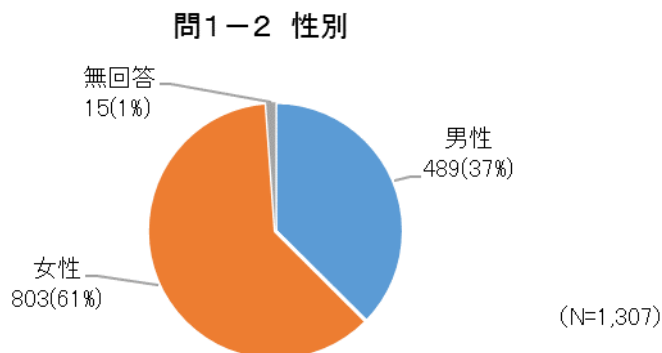
		回答数 (票)	回収率 (%)
1	本庁地区	368	41.2
2	芳野地区	19	37.3
3	古谷地区	35	36.5
4	南古谷地区	100	47.8
5	高階地区	189	42.7
6	福原地区	76	44.2
7	大東地区	122	41.2
8	霞ヶ関地区	135	49.5
9	霞ヶ関北地区	64	41.8
10	名細地区	99	37.9
11	山田地区	53	52.5
12	川鶴地区	20	39.2
13	無回答	27	
	合計	1,307	43.6



問1-2 あなたの性別

回答者の性別は、男性が約4割、女性が約6割であり、と、女性からの回答が多い。

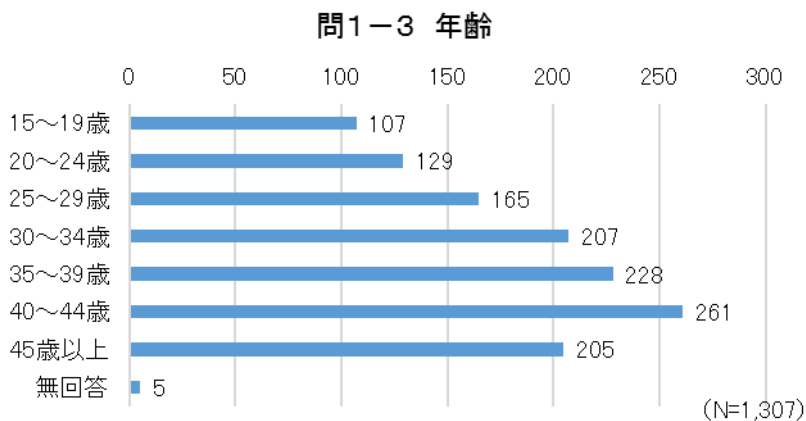
		(票)	(%)
1	男性	489	37.4
2	女性	803	61.4
3	無回答	15	1.1
	合計	1,307	100.0



問1-3 あなたの年齢

回答者の年齢をみると、「40～44歳」が最も多く、年齢が若くなるほど回答が少なくなっている。

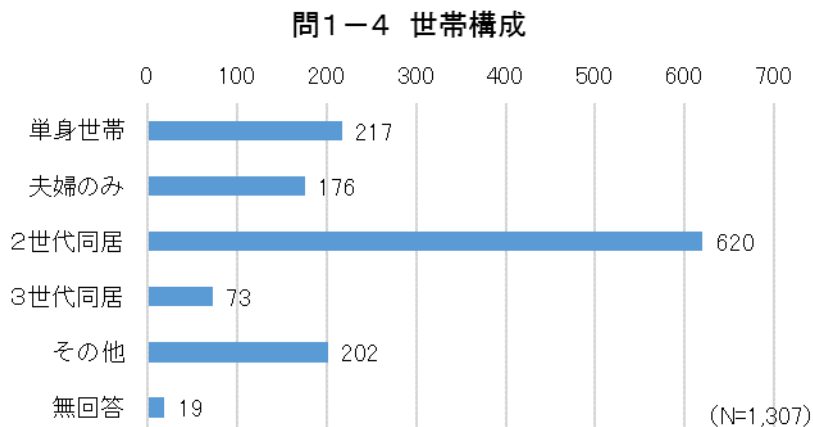
		(票)	(%)
1	15～19歳	107	8.2
2	20～24歳	129	9.9
3	25～29歳	165	12.6
4	30～34歳	207	15.8
5	35～39歳	228	17.4
6	40～44歳	261	20.0
7	45歳以上	205	15.7
8	無回答	5	0.4
	合計	1,307	100.0



問1-4 あなたの世帯構成

回答者の世帯構成をみると、「2世代同居」が最も多く、620票（47%）と約半数を占める。

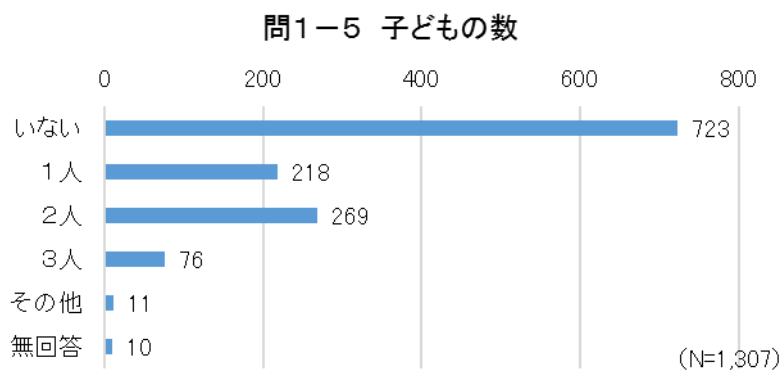
		(票)	(%)
1	単身世帯	217	16.6
2	夫婦のみ	176	13.5
3	2世代同居	620	47.4
4	3世代同居	73	5.6
5	その他	202	15.5
6	無回答	19	1.5
	合計	1,307	100.0



問1-5 子どもの数

子どもの数は「いない」とする人が最も多く、723票（55%）と半数以上を占める。次いで「2人」が269票（21%）、「1人」が218票（17%）となっている。

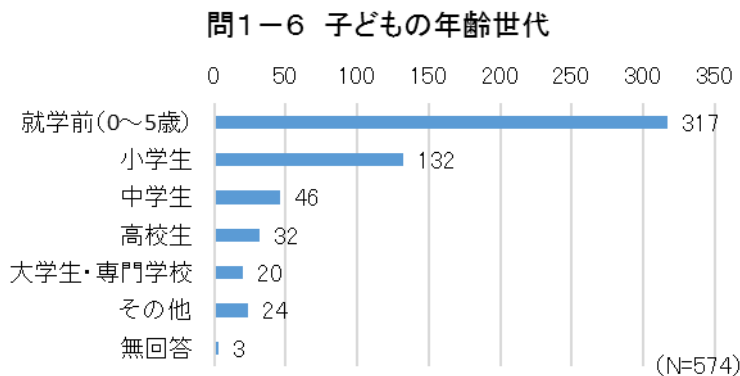
		(票)	(%)
1	いない	723	55.3
2	1人	218	16.7
3	2人	269	20.6
4	3人	76	5.8
5	その他	11	0.8
6	無回答	10	0.8
	合計	1,307	100.0



問1-6 子どもの年齢世代

問1-5で「子どもがいる」と回答した方のうち、317票（55%）が就学前の子どもがいると回答しており、132票（23%）が小学生の子どもがいると回答している。

		(票)	(%)
1	就学前(0~5歳)	317	55.2
2	小学生	132	23.0
3	中学生	46	8.0
4	高校生	32	5.6
5	大学生・専門学校	20	3.5
6	その他	24	4.2
7	無回答	3	0.5
	合計	574	100.0



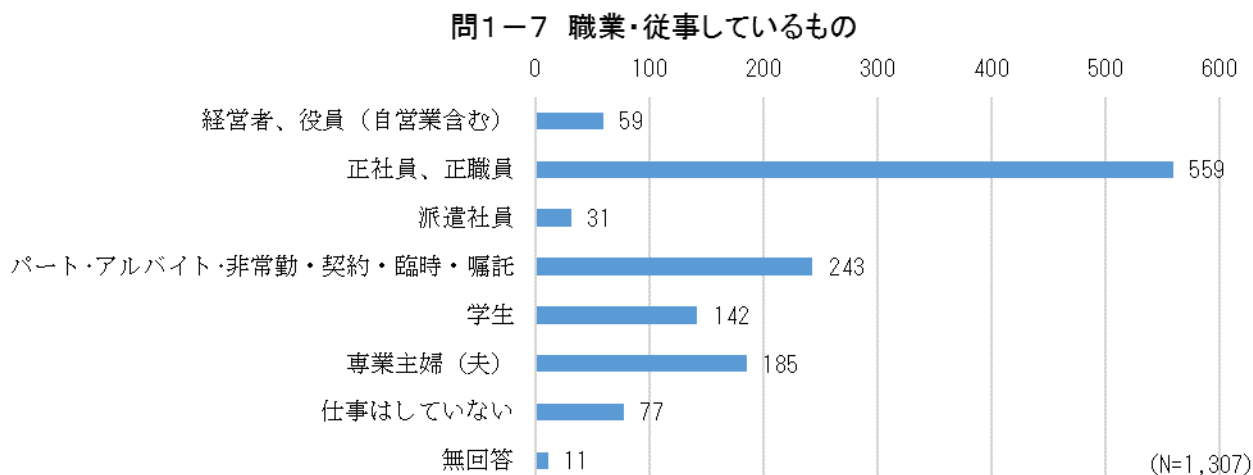
※子どもが2人以上いる場合は、一番年齢が低い子どもについて回答。

問1-7 あなたの職業・従事しているもの

職業・従事しているものでは、「正社員、正職員」が559票（43%）であり、次いで「パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託」が243票（19%）となっている。

一方で、「専業主婦（夫）」が185票（14%）、「仕事はしていない」が77票（6%）と、約2割が就労・就学していない。

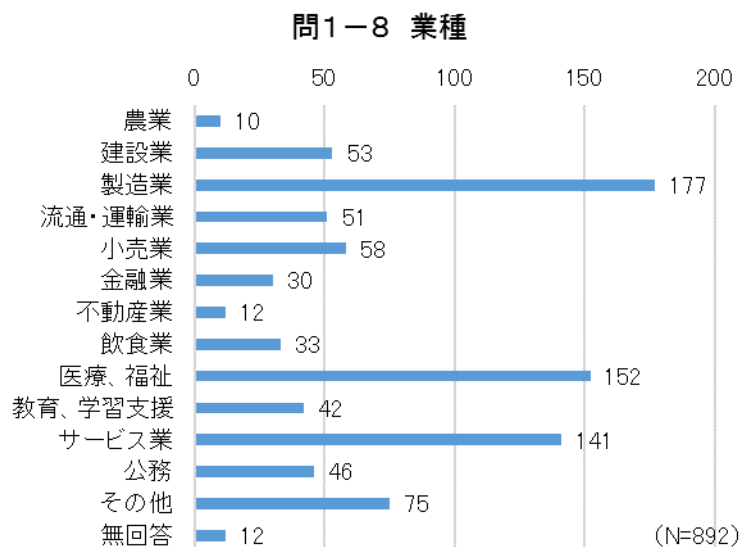
		(票)	(%)
1	経営者、役員(自営業含む)	59	4.5
2	正社員、正職員	559	42.8
3	派遣社員	31	2.4
4	パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託	243	18.6
5	学生	142	10.9
6	専業主婦(夫)	185	14.2
7	仕事はしていない	77	5.9
8	無回答	11	0.8
	合計	1,307	100.0



問1-8 あなたが従事している業種

従事している業種は、「製造業」が177票（20%）、「医療、福祉」が152票（17%）、「サービス業」が141票（16%）となっている。

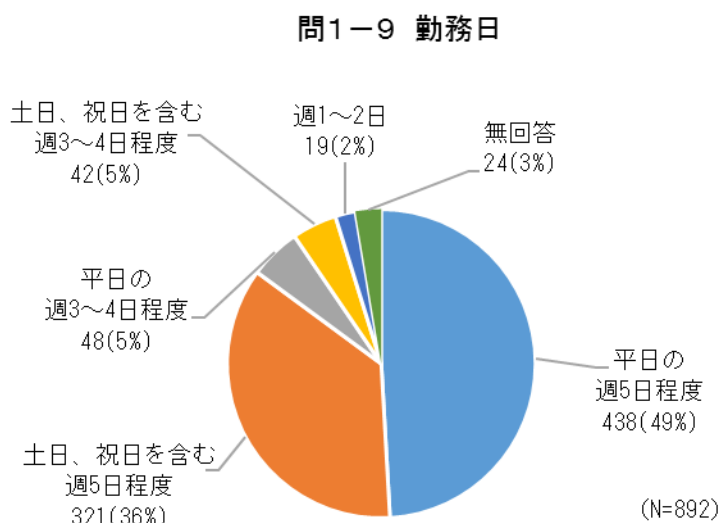
		(票)	(%)
1	農業	10	1.1
2	建設業	53	5.9
3	製造業	177	19.8
4	流通・運輸業	51	5.7
5	小売業	58	6.5
6	金融業	30	3.4
7	不動産業	12	1.3
8	飲食業	33	3.7
9	医療、福祉	152	17.0
10	教育、学習支援	42	4.7
11	サービス業	141	15.8
12	公務	46	5.2
13	その他	75	8.4
14	無回答	12	1.3
	合計	892	100.0



問1-9 勤務日

就労していると回答した方のうち、勤務日を見ると「平日の週5日程度」が最も多く438票（49%）、次いで「土日、祝日を含む週5日程度」が321票（36%）であり、全体の8割以上が週5日程度、勤務していることが分かる。

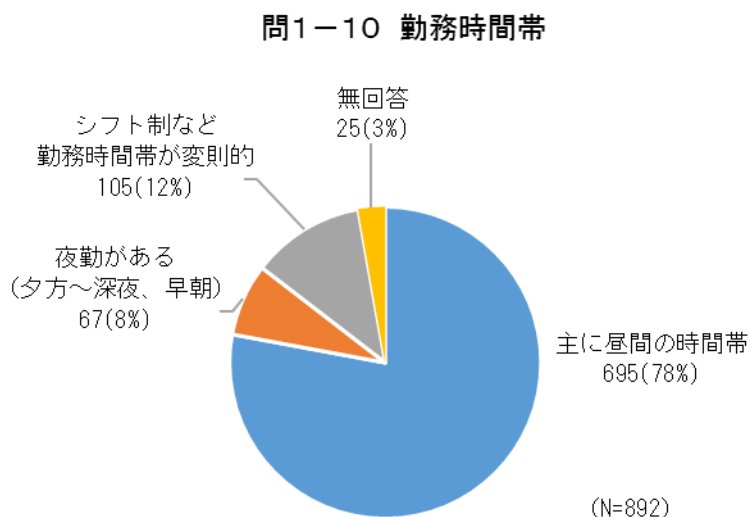
		(票)	(%)
1	平日の週5日程度	438	49.1
2	土日、祝日を含む週5日程度	321	36.0
3	平日の週3~4日程度	48	5.4
4	土日、祝日を含む週3~4日程度	42	4.7
5	週1~2日	19	2.1
6	無回答	24	2.7
	合計	892	100.0



問1-10 勤務時間帯

勤務時間帯は、「主に昼間の時間帯」が最も多く 695 票 (78%) であり、約 8 割が規則的に昼間の時間帯に働いていることが分かる。

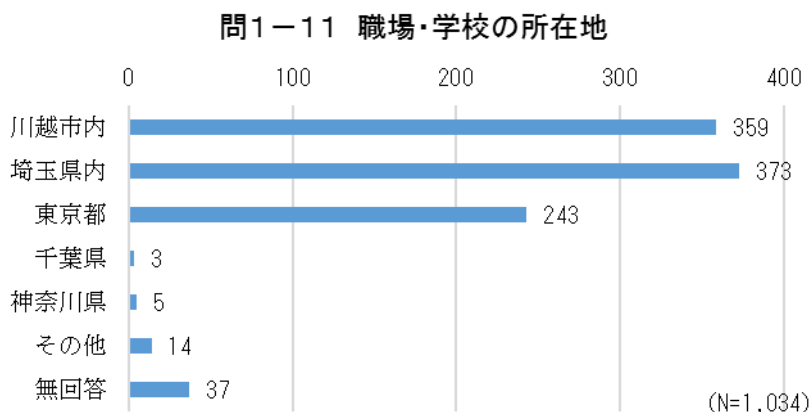
		(票)	(%)
1	主に昼間の時間帯	695	77.9
2	夜勤がある(夕方～深夜、早朝)	67	7.5
3	シフト制など勤務時間帯が変則的	105	11.8
4	無回答	25	2.8
	合計	892	100.0



問1-11 職場・学校の所在地

職場・学校の所在地をみると、「埼玉県内」が最も多く 373 票 (36%)、次いで「川越市内」が 359 票 (35%) であり、「東京都」も 243 票 (24%) であった。全体の約 6 割が川越市内外へ通勤・通学していることが分かる。

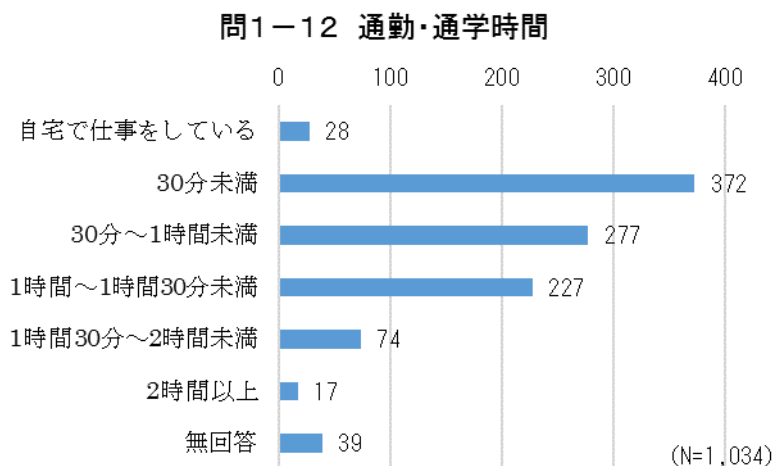
		(票)	(%)
1	川越市内	359	34.7
2	埼玉県内	373	36.1
3	東京都	243	23.5
4	千葉県	3	0.3
5	神奈川県	5	0.5
6	その他	14	1.4
7	無回答	37	3.6
	計	1,034	100.0



問1-12 通勤・通学にかかる時間

通勤・通学にかかる時間では、「30分未満」が最も多く372票（36%）、次いで「30分～1時間未満」が277票（27%）と、全体の6割以上が1時間以内で通勤・通学している。

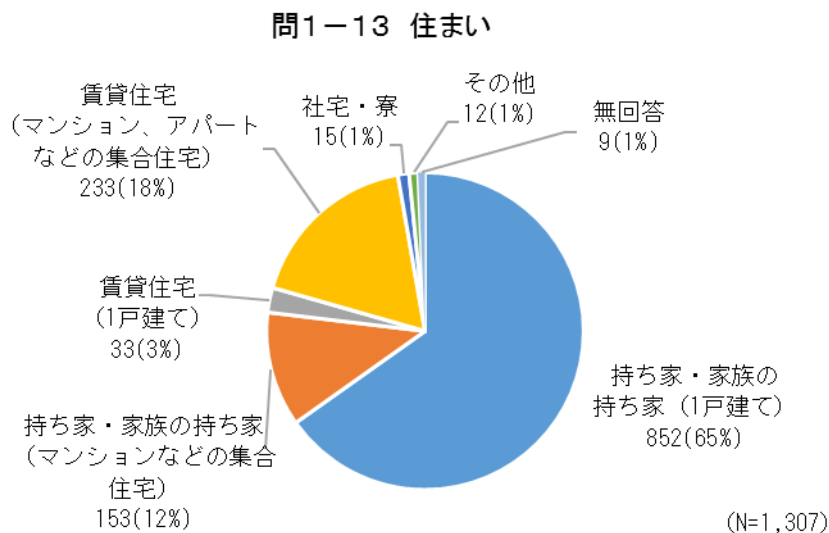
		(票)	(%)
1	自宅で仕事をしている	28	2.7
2	30分未満	372	36.0
3	30分～1時間未満	277	26.8
4	1時間～1時間30分未満	227	22.0
5	1時間30分～2時間未満	74	7.2
6	2時間以上	17	1.6
7	無回答	39	3.8
	計	1,034	100.0



問1-13 住まいの所有状況

住まいの所有状況をみると、「持ち家・家族の持ち家（1戸建て）」が852票（65%）、次いで「持ち家・家族の持ち家（マンションなどの集合住宅）」が153票（12%）と、全体の7割以上が持ち家に住んでいることが分かる。

		(票)	(%)
1	持ち家・家族の持ち家(1戸建て)	852	65.2
2	持ち家・家族の持ち家(マンションなどの集合住宅)	153	11.7
3	賃貸住宅(1戸建て)	33	2.5
4	賃貸住宅(マンション、アパートなどの集合住宅)	233	17.8
5	社宅・寮	15	1.1
6	その他	12	0.9
7	無回答	9	0.7
	計	1,307	100.0



(2) 結婚や出産、子育てについて

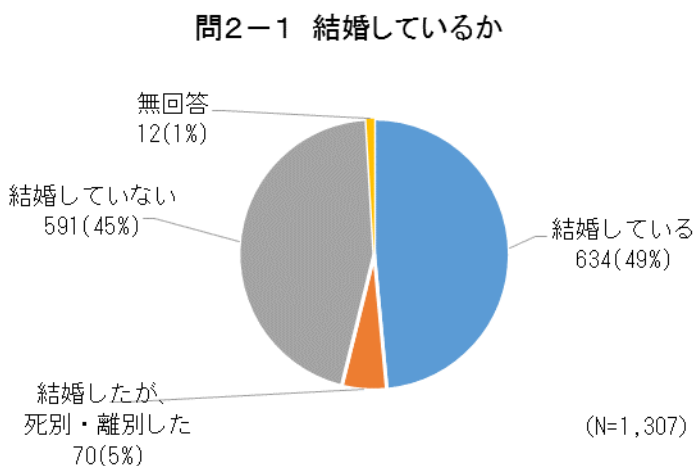
問2-1 結婚しているか

結婚の状況を見ると、「結婚している」が634票(49%)、「結婚していない」が591票(45%)とほぼ半々である。

年齢別に結婚の状況を見ると、30歳以上では各年代とも約6割が結婚しており、25～29歳では約4割にとどまる。

男女別に結婚の状況を見ると、女性の55%が結婚しているのに対し、男性は37%にとどまる。

		(票)	(%)
1	結婚している	634	48.5
2	結婚したが、 死別・離別した	70	5.4
3	結婚していない	591	45.2
4	無回答	12	0.9
	計	1,307	100.0



<年齢別>

(票)

	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答	計
結婚している	1	7	61	122	141	178	123	1	634
死別・離別した	0	0	3	7	12	20	28	0	70
結婚していない	105	121	99	78	74	60	52	2	591
無回答	1	1	2	0	1	3	2	2	12
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

<男女別>

	男性 (票)	割合 (%)	女性 (票)	割合 (%)	無回答 (票)	計 (票)
結婚している	183	37.4	445	55.4	6	634
死別・離別した	21	4.3	48	6.0	1	70
結婚していない	279	57.1	307	38.2	5	591
無回答	6	1.2	3	0.4	3	12
計	489	100.0	803	100.0	15	1,307

問2-2 結婚に対する意向

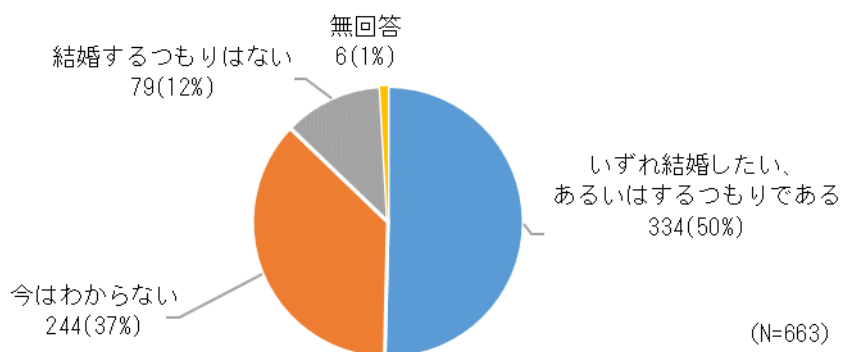
問2-1で「結婚したが、死別・離別した」、「結婚していない」と回答した方の結婚に対する意向をみると、「いずれ結婚したい、あるいはするつもりである」が最も多く334票(50%)、次いで「今はわからない」244票(37%)である。

年齢別に「いずれ結婚したい」と回答した割合をみると、15～19歳の若い世代では約4割にとどまるが、20～24歳では約7割を占める。35歳以上になると、「結婚するつもりはない」の割合が増加する。

男女別にみると、女性の55%が「いずれ結婚したい」と回答しているのに対し、男性は46%にとどまる。男女ともに、約1割程度の方が「結婚するつもりはない」としている。

		(票)	(%)
1	いずれ結婚したい、あるいはするつもりである	334	50.4
2	今はわからない	244	36.8
3	結婚するつもりはない	79	11.9
4	無回答	6	0.9
	計	663	100.0

問2-2 結婚意向



<年齢別>

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
いずれ結婚したい	42	81	67	51	44	32	16	1	334
今は分からない	52	30	28	31	32	32	38	1	244
結婚するつもりはない	9	9	9	3	11	15	23	0	79
無回答	2	1	0	0	0	0	3	0	6
計	105	121	104	85	87	79	80	2	663

<男女別>

	男性 (票)	割合 (%)	女性 (票)	割合 (%)	無回答 (票)	計 (票)
いずれ結婚したい	137	45.5	196	55.1	1	334
今は分からない	118	39.2	122	34.3	4	244
結婚するつもりはない	41	13.6	37	10.4	1	79
無回答	5	1.7	1	0.3	0	6
計	301	100.0	356	100.0	6	663

問2-3 結婚するために必要な条件

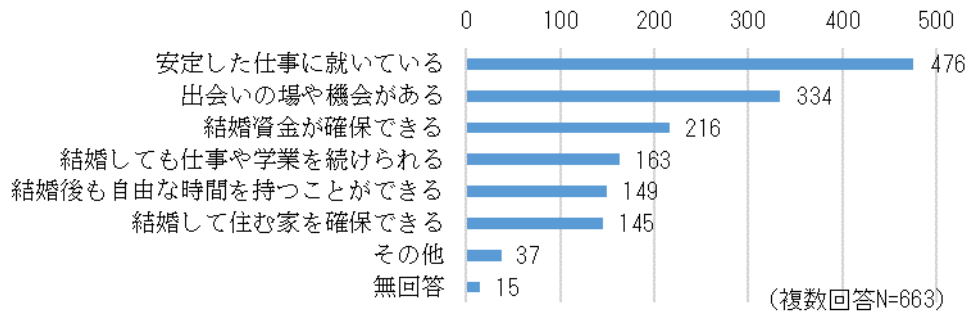
結婚するために必要な条件をみると、「安定した仕事に就いている」が最も多く476票（72%）である。年齢別にみると、この傾向は同様であり、特に15～19歳、20～24歳で顕著である。

男女別にみると、男女ともに「安定した仕事に就いている」が最も多いが、男性は「結婚資金が確保できる」の回答が多く、女性は「結婚しても仕事や学業を続けられる」の回答が多い。

複数回答 N=663		(票)	(%)
1	安定した仕事に就いている	476	71.8
2	出会いの場や機会がある	334	50.4
3	結婚資金が確保できる	216	32.6
4	結婚しても仕事や学業を続けられる	163	24.6
5	結婚後も自由な時間を持つことができる	149	22.5
6	結婚して住む家を確保できる	145	21.9
7	その他	37	5.6
8	無回答	15	2.3

※複数回答のため、割合の合計は100.0%にはならない。

問2-3 結婚に必要な条件



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
安定した仕事に就いている	77	82	76	68	62	58	50	3	476
出会いの場や機会がある	37	50	51	58	50	48	39	1	334
結婚資金が確保できる	26	47	52	31	23	21	15	1	216
結婚しても仕事や学業を続けられる	29	28	22	27	22	24	11	0	163
結婚後も自由な時間を持つことができる	22	25	22	26	22	16	15	1	149
結婚して住む家を確保できる	32	29	18	13	20	17	15	1	145
その他	5	4	3	6	9	4	6	0	37
無回答	3	4	2	1	1	1	3	0	15

<男女別>

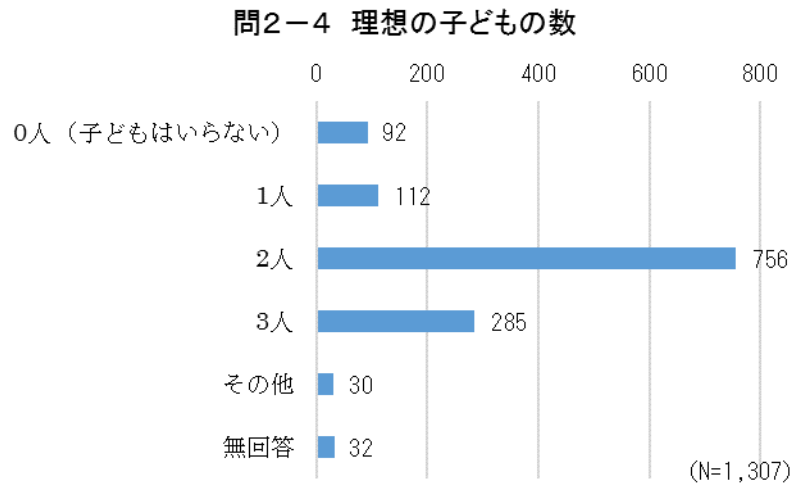
(男性277人、女性381人、性別無回答5人)

	男性(票)	割合(%)	女性(票)	割合(%)	無回答(票)	計(票)
安定した仕事に就いている	200	72.2	272	71.4	4	476
出会いの場や機会がある	143	51.6	187	49.1	4	334
結婚資金が確保できる	108	39.0	105	27.6	3	216
結婚しても仕事や学業を続けられる	38	13.7	123	32.3	2	163
結婚後も自由な時間を持つことができる	50	18.1	99	26.0	0	149
結婚して住む家を確保できる	59	21.3	86	22.6	0	145
その他	12	4.3	25	6.6	0	37
無回答	10	3.6	5	1.3	0	15

問2-4 理想の子どもの数

理想の子どもの数をみると、「2人」が最も多く756票(58%)、次いで「3人」が285票(22%)である。この傾向は、年齢別、男女別にみても同様である。

		(票)	(%)
1	0人(子どもはいらない)	92	7.0
2	1人	112	8.6
3	2人	756	57.8
4	3人	285	21.8
5	その他	30	2.3
6	無回答	32	2.4
	計	1,307	100.0



その他の自由回答

	(票)
4人	10
5人	2
4~5人	1
4~6人	1
考えない、分からない、未定など	16

<年齢別>

	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上	無回答	計
0人	9	6	10	4	13	24	26	0	92
1人	13	12	10	18	15	29	15	0	112
2人	66	92	103	125	124	140	105	1	756
3人	14	15	38	56	63	55	43	1	285
その他	3	2	3	3	8	4	7	0	30
無回答	2	2	1	1	5	9	9	3	32
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

<男女別>

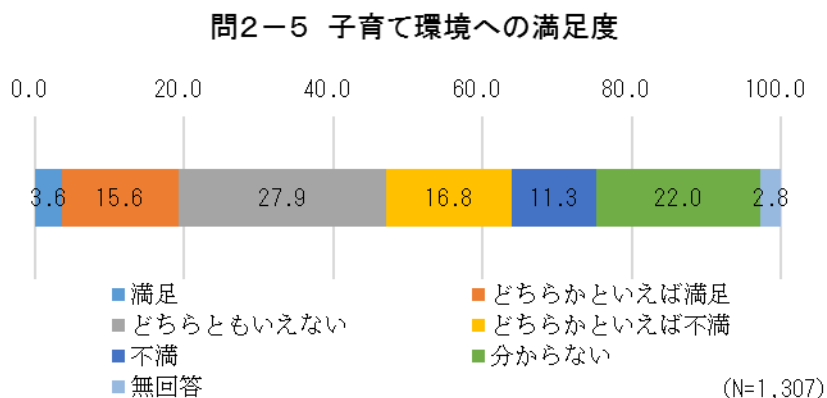
	男性 (票)	割合 (%)	女性 (票)	割合 (%)	無回答 (票)	計 (票)
0人	38	7.8	54	6.7	0	92
1人	39	8.0	72	9.0	1	112
2人	310	63.4	440	54.8	6	756
3人	76	15.5	205	25.5	4	285
その他	10	2.0	19	2.4	1	30
無回答	16	3.3	13	1.6	3	32
計	489	100.0	803	100.0	15	1,307

問2-5 子育て環境の満足度

子育て環境の満足度をみると、「満足」47票(4%)、「どちらかといえば満足」204票(16%)であり、約2割がおおむね満足している。一方で「どちらかといえば不満」219票(17%)、「不満」148票(11%)であり、約3割が不満を感じている。

本市の子育て施策によるサービスを楽しんでいると考えられる30～44歳においても同様である。

		(票)	(%)
1	満足	47	3.6
2	どちらかといえば満足	204	15.6
3	どちらともいえない	365	27.9
4	どちらかといえば不満	219	16.8
5	不満	148	11.3
6	分からない	287	22.0
7	無回答	37	2.8
	計	1,307	100.0



<年齢別>

(%)

	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答
満足	3.7	0.8	2.4	3.4	3.1	7.3	2.4	0.0
どちらかといえば満足	11.2	9.3	15.2	16.9	22.4	15.3	14.1	0.0
どちらともいえない	12.1	27.1	30.9	27.5	28.1	30.7	31.7	0.0
どちらかといえば不満	11.2	13.2	17.0	21.3	18.9	14.2	18.0	20.0
不満	8.4	7.8	9.1	15.5	9.2	13.4	12.2	20.0
分からない	52.3	41.1	24.8	12.1	16.7	14.6	17.1	20.0
無回答	0.9	0.8	0.6	3.4	1.8	4.6	4.4	40.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

問2-6 出産や子育て環境を改善するために必要な取組

出産や子育て環境を改善するために必要な取組をみると、「保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減」が最も多く805票（62%）、次いで「育児休業の取得や復職・再就職支援などの職場環境の整備」が587票（45%）である。

この傾向は、年齢別にみても各年代で同様であるが、30～44歳では特に「保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減」の回答が多い。

		複数回答 N=1,307	(票)	(%)
1	保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減	805		61.6
2	育児休業の取得や復職・再就職支援などの職場環境の整備	587		44.9
3	ワーク・ライフ・バランスの推進	497		38.0
4	保育環境の充実	441		33.7
5	医療費負担の軽減	344		26.3
6	子どもの学習・教育環境の充実	277		21.2
7	妊娠・出産・子育てへの総合的な相談体制の充実	175		13.4
8	生命の大切さ、家庭や地域の大切さ等の価値観の醸成	128		9.8
9	多子世帯への支援	123		9.4
10	その他	56		4.3
11	無回答	29		2.2

※複数回答のため、割合の合計は100.0%にはならない。

<年齢別>

	(票)								
	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答	計
保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減	62	84	109	138	142	156	112	2	805
育児休業の取得や復職・再就職支援などの職場環境の整備	67	62	76	85	98	102	96	1	587
ワーク・ライフ・バランスの推進	32	54	60	82	92	103	73	1	497
保育環境の充実	22	37	63	82	93	76	66	2	441
医療費負担の軽減	35	39	42	54	48	76	49	1	344
子どもの学習・教育環境の充実	18	21	33	35	52	67	50	1	277
妊娠・出産・子育てへの総合的な相談体制の充実	9	18	26	32	32	32	26	0	175
生命の大切さ、家庭や地域の大切さ等の価値観の醸成	13	11	19	18	22	25	19	1	128
多子世帯への支援	7	3	18	27	28	25	15	0	123
その他	4	8	5	11	5	12	11	0	56
無回答	2	2	0	2	4	10	7	2	29

＜必要な取組に対するその他の意見＞

問1-5で子どもがいると回答した方

必要な取組に対するその他の意見の中でも特に、学費などの子育てに係わる経済的な負担軽減についての意見や、子育て環境についての意見が多くみられた。

ご意見(一部抜粋・要約)
入学・通学・医療など育児にかかる経済的な補助。
もっと若い人達が安心して出産、子育てできるような手当が増えれば子どもを産む人も増えると思う。
共働きでないと生活できないため、産休の間も給料が保証されれば子どもを産むことができる。
多子世帯、母子世帯への減税を望む。収入があっても学費がかかるので、増税となるのは不満。
高学歴(大学)の学費に対する補助。
出産育児一時金の増額。
パートやアルバイトではなく正社員として女性が長く働ける環境づくりを強く希望する。
保育所の入所条件等の見直し。今のままだと第二子、第三子をもうけづらい。
産科を充実すること。
不妊治療に対する支援。
インフルエンザワクチン等に対する補助。
母子家庭に対する支援。
住まい周辺にもっと自然に触れられる場所があればと思う。
夏休み中、学校のプールを開放してほしい。都内に比べると、開放する日数が少なすぎる。
子どもが近隣住民に気を使わないで思い切り安全に遊べる場所をたくさん確保してほしい。
子どもがのびのび遊べ、大人がいじめや非行に目を光らせている環境が必要。
PTA、自治会、育成会等の活動の負担軽減を図る。

問1-5で子どもがいないと回答した方

必要な取組に対するその他の意見の中でも特に、職場・家庭などでの出産・子育てに関する意識づけについての意見が多くみられた。

ご意見(一部抜粋・要約)
出産や子育てに対する意識改革が根本的に必要。理解も改善しようとも考えていない。
社会自体が変わらない限り、これから結婚や出産を控えている人はとても安心できない。
現実的に共働きでないと子育てはできない場合が多いので、女性の家事負担を軽減する施策や男性も家事を積極的に負担する意識改革が必要。
子育て支援ばかり取り上げているがそれ以前の問題であり、産休から復帰する人のしわ寄せが独身である人に来ているので婚活する時間も気力もない。日本の会社はまだまだワーク・ライフ・バランスが実現できる基盤がない。
女性は長時間労働しないとキャリアが上がらないのはおかしい。
母親が外で働かなくても生活できるような父親の安定した仕事が必要。
手当など経済的な援助ではなく、環境づくりが必要。
金銭的な補助よりも、自立して子どもを養える環境を整える。
子育て環境の詳しい実情を地域住民に広く理解してもらい、協力を仰ぐことが必要。
地域の人と連携するために地域ぐるみのイベントなどに参加することが必要。
共同体の一員である自覚と共同体で守るべき責任意識が必要。

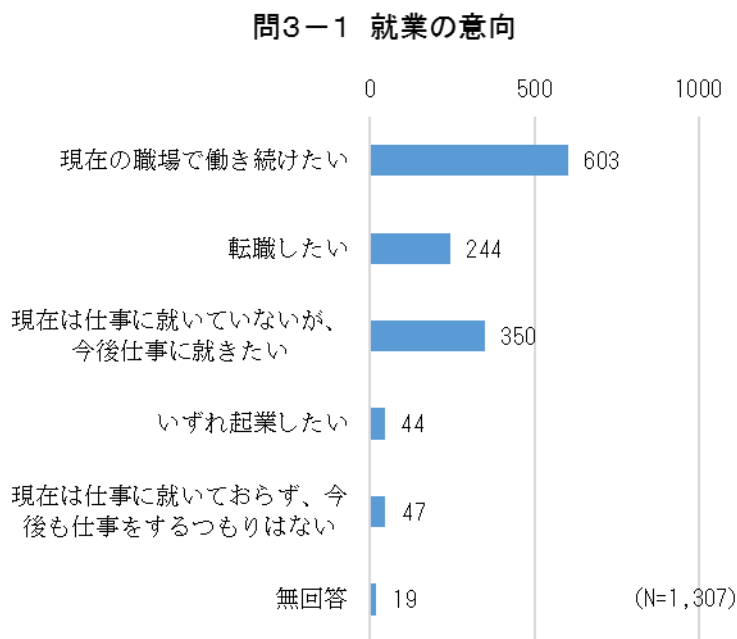
(3) 就職、転職、再就職・起業の意向

問3-1 今後の就業意向

今後の就業意向をみると、「現在の職場で働き続けたい」が最も多く 603 票（46%）、次いで「現在は仕事に就いていないが、今後仕事に就きたい」が 350 票（27%）である。

この傾向は、25 歳以上の各年代で同様である。「今後も仕事をするつもりはない」としているのは、各世代とも少数である。

		(票)	(%)
1	現在の職場で働き続けたい	603	46.1
2	転職したい	244	18.7
3	現在は仕事に就いていないが、今後仕事に就きたい	350	26.8
4	いずれ起業したい	44	3.4
5	現在は仕事に就いておらず、今後も仕事をするつもりはない	47	3.6
6	無回答	19	1.5
	計	1,307	100.0



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
現在の職場で働き続けたい	5	45	84	98	115	140	115	1	603
転職したい	3	22	47	44	47	45	35	1	244
現在は仕事に就いていないが、今後仕事に就きたい	91	53	22	52	52	50	29	1	350
いずれ起業したい	0	6	7	6	7	12	6	0	44
現在は仕事に就いておらず、今後も仕事をするつもりはない	5	2	3	7	5	9	16	0	47
無回答	3	1	2	0	2	5	4	2	19
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

問3-2 仕事に求める条件

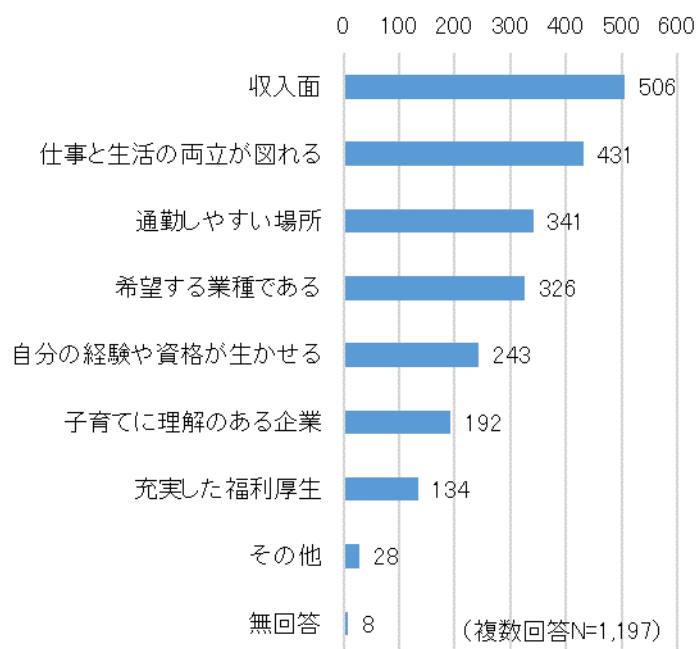
仕事に求める条件をみると、「収入面」が最も多く 506 票 (42%)、次いで「仕事と生活の両立が図れる」が 431 票 (36%)、「通勤しやすい場所」が 341 票 (29%) となっている。

年齢別にみると、ほとんどの年代で「収入面」が最も多いが、15～19 歳では「希望する業種である」が最も多い。また、35 歳以上では「仕事と生活の両立が図れる」の回答も多い。

	複数回答 N=1,197	(票)	(%)
1	収入面	506	42.3
2	仕事と生活の両立が図れる	431	36.0
3	通勤しやすい場所	341	28.5
4	希望する業種である	326	27.2
5	自分の経験や資格が生かせる	243	20.3
6	子育てに理解のある企業	192	16.0
7	充実した福利厚生	134	11.2
8	その他	28	2.3
9	無回答	8	0.7

※複数回答のため、割合の合計は 100.0% にはならない。

問3-2 仕事に求める条件



<年齢別>

(票)

	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45 歳以上	無回答	計
収入面	43	58	78	71	81	100	72	3	506
仕事と生活の両立が図れる	20	41	58	70	87	80	74	1	431
通勤しやすい場所	15	32	39	54	71	72	57	1	341
希望する業種である	57	42	42	40	49	57	38	1	326
自分の経験や資格が生かせる	25	17	18	36	42	59	46	0	243
子育てに理解のある企業	5	6	25	63	48	33	12	0	192
充実した福利厚生	16	21	27	21	18	19	12	0	134
その他	1	6	1	3	7	3	7	0	28
無回答	2	0	0	3	0	2	1	0	8

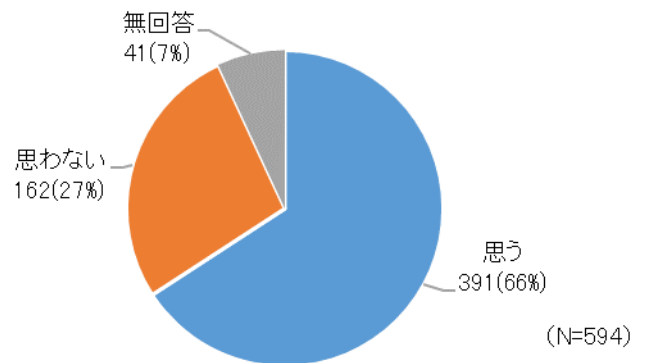
問3-3 川越市内での就職意向

川越市内での就職意向をみると、「思う」が 391 票（66%）であり、「思わない」の 2 倍強となっている。

年齢別にみると、若い世代ほど「思わない」の率が高く、40 歳以上では 8 割以上が「思う」を選択している。

		(票)	(%)
1	思う	391	65.8
2	思わない	162	27.3
3	無回答	41	6.9
	計	594	100.0

問3-3 川越市内での就職意向



<年齢別>

(票)

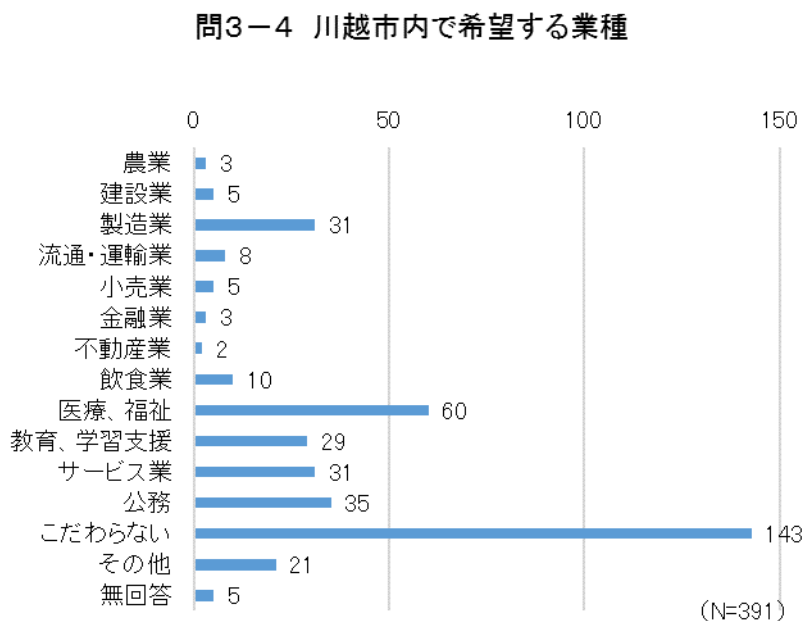
	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回答	計
思う	36	37	45	69	75	73	54	2	391
思わない	47	30	20	22	18	18	7	0	162
無回答	11	8	4	5	6	4	3	0	41
計	94	75	69	96	99	95	64	2	594

問3-4 川越市内で就職、転職、再就職する際の希望する業種

川越市内で希望する業種をみると、「こだわらない」が最も多く143票（37%）、次いで「医療、福祉」が60票（15%）となっている。

年齢別にみると、おおむねの年代で「こだわらない」が最も多いが、15～19歳のまだ働いていない世代では、「医療、福祉」や「公務」が最も多くなっている。

	(票)	(%)
1 農業	3	0.8
2 建設業	5	1.3
3 製造業	31	7.9
4 流通・運輸業	8	2.0
5 小売業	5	1.3
6 金融業	3	0.8
7 不動産業	2	0.5
8 飲食業	10	2.6
9 医療、福祉	60	15.3
10 教育、学習支援	29	7.4
11 サービス業	31	7.9
12 公務	35	9.0
13 こだわらない	143	36.6
14 その他	21	5.4
15 無回答	5	1.3
計	391	100.0



<年齢別>

(票)

	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答	計
農業	0	0	0	2	0	0	1	0	3
建設業	1	0	2	2	0	0	0	0	5
製造業	3	2	4	7	6	4	5	0	31
流通・運輸業	1	1	0	2	1	3	0	0	8
小売業	0	2	0	1	1	0	1	0	5
金融業	0	0	0	0	0	2	1	0	3
不動産業	0	0	0	0	0	1	1	0	2
飲食業	0	0	1	3	1	3	2	0	10
医療、福祉	8	7	5	12	14	9	5	0	60
教育、学習支援	3	0	3	7	6	6	4	0	29
サービス業	3	3	2	4	11	3	5	0	31
公務	8	8	3	4	3	5	3	1	35
こだわらない	7	12	23	22	27	32	19	1	143
その他	2	1	2	2	4	3	7	0	21
無回答	0	1	0	1	1	2	0	0	5
計	36	37	45	69	75	73	54	2	391

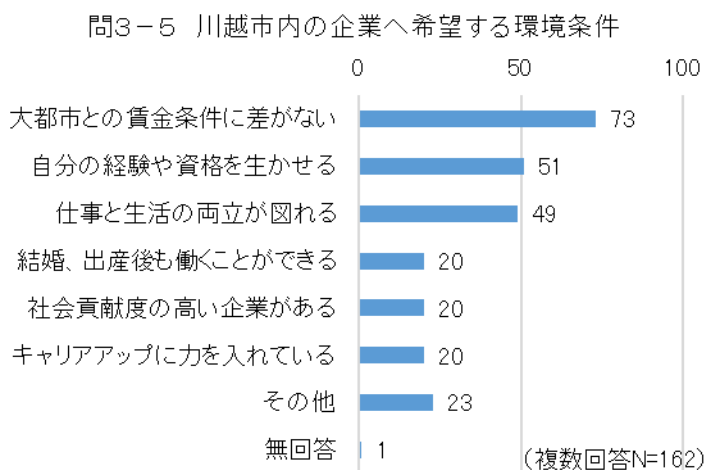
問3-5 川越市内の企業に就職する際の環境条件

川越市内の企業に就職する際の環境条件をみると、「大都市との賃金条件に差がない」が最も多く 73 票（45%）、次いで「自分の経験や資格を生かせる」が 51 票（32%）、「仕事と生活の両立が図れる」が 49 票（30%）である。

年齢別にみると、上位を占めるものは同様であるが、中でも若い世代では「大都市との賃金条件に差がない」が多いが、35歳以上では「自分の経験や資格を生かせる」が多い。

複数回答 N=162 (票) (%)

順位	環境条件	票数	割合 (%)
1	大都市との賃金条件に差がない	73	45.1
2	自分の経験や資格を生かせる	51	31.5
3	仕事と生活の両立が図れる	49	30.2
4	結婚、出産後も働くことができる	20	12.3
5	社会貢献度の高い企業がある	20	12.3
6	キャリアアップに力を入れている	20	12.3
7	その他	23	14.2
8	無回答	1	0.6



※複数回答のため、割合の合計は 100.0%にはならない。

<年齢別>

(票)

	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答	計
大都市との賃金条件に差がない	20	12	10	12	7	8	4	0	73
自分の経験や資格を生かせる	14	9	5	6	9	7	1	0	51
仕事と生活の両立が図れる	10	6	8	8	8	5	4	0	49
結婚、出産後も働くことができる	7	2	5	4	2	0	0	0	20
社会貢献度の高い企業がある	10	7	2	0	1	0	0	0	20
キャリアアップに力を入れている	4	4	4	1	4	3	0	0	20
その他	8	5	2	4	1	2	1	0	23
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	1

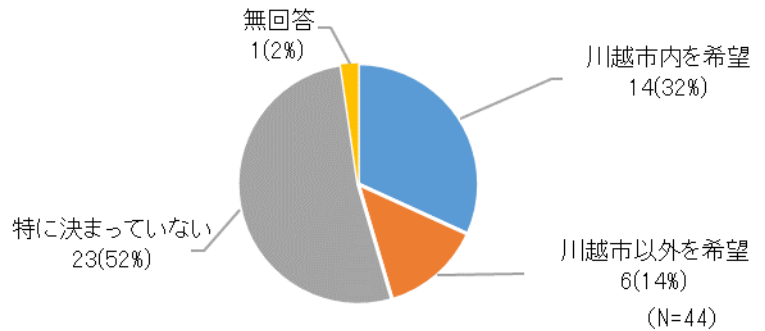
問3-6 起業する場所は川越市内を希望するか

川越市内での起業意向をみると、「特に決まっていない」が最も多く23票(52%)、次いで「川越市内を希望」が14票(32%)である。

年齢別にみてもおおむね同様であるが、「川越市以外を希望」すると回答した人は40～44歳で最も多い。

	(票)	(%)
1 川越市内を希望	14	31.8
2 川越市以外を希望	6	13.6
3 特に決まっていない	23	52.3
4 無回答	1	2.3
計	44	100.0

問3-6 川越市内での起業意向



<年齢別>

(票)

	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45歳 以上	無回答	計
川越市内を希望	0	2	3	1	2	4	2	0	14
川越市以外を希望	0	0	1	1	1	3	0	0	6
特に決まっていない	0	4	3	4	4	5	3	0	23
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	0	6	7	6	7	12	6	0	44

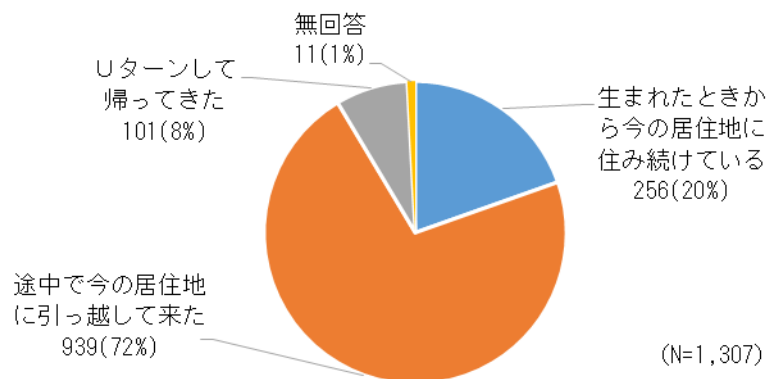
(4) 住まいに関する意向

問4-1 いつから今の居住地に住んでいるか

いつから今の居住地に住んでいるかをみると、「途中で今の居住地に引っ越して来た」が939票(72%)と最も多い。

		(票)	(%)
1	生まれたときから今の居住地に住み続けている	256	19.6
2	途中で今の居住地に引っ越して来た	939	71.8
3	Uターンして帰ってきた	101	7.7
4	無回答	11	0.8
	計	1,307	100.0

問4-1いつから住んでいるか



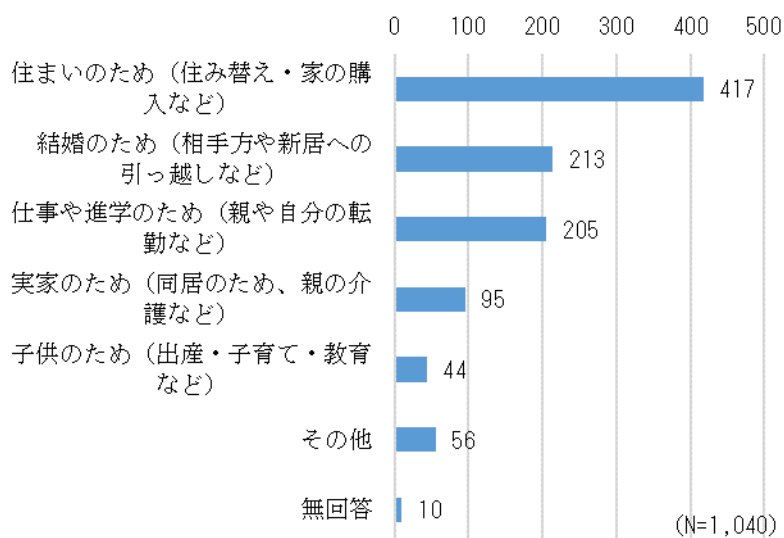
問4-2 今の居住地に引っ越すことになったきっかけ

今の居住地に引っ越すことになったきっかけをみると、「住まいのため」が最も多く417票（40%）、次いで「結婚のため」が213票（21%）、「仕事や進学のため」が205票（20%）である。

年齢別にみると、おおむねの年代で「住まいのため」「結婚のため」「仕事や進学のため」が上位を占める。

		(票)	(%)
1	住まいのため(住み替え・家の購入など)	417	40.1
2	結婚のため(相手方や新居への引っ越しなど)	213	20.5
3	仕事や進学のため(親や自分の転勤など)	205	19.7
4	実家のため(同居のため、親の介護など)	95	9.1
5	子供のため(出産・子育て・教育など)	44	4.2
6	その他	56	5.4
7	無回答	10	1.0
	計	1,040	100.0

問4-2 今の居住地に引っ越すことになったきっかけ



<年齢別>

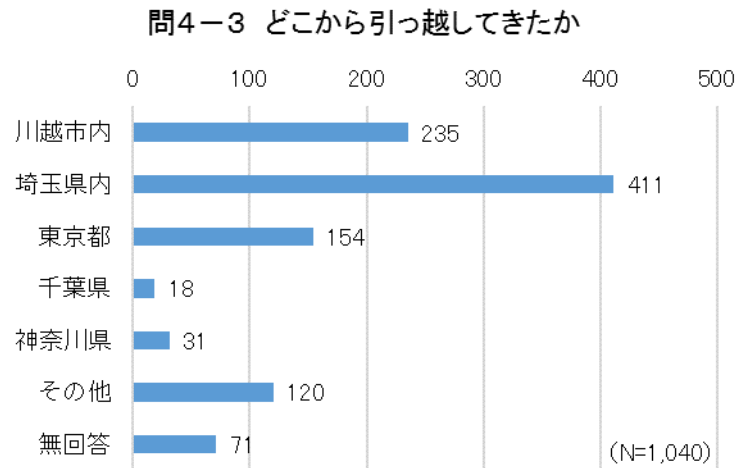
	(票)								
	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
住まいのため(住み替え・家の購入など)	35	39	42	60	70	102	68	1	417
結婚のため(相手方や新居への引っ越しなど)	0	4	31	38	46	56	38	0	213
仕事や進学のため(親や自分の転勤など)	11	25	35	42	34	28	29	1	205
実家のため(同居のため、親の介護など)	3	13	8	13	24	17	17	0	95
子供のため(出産・子育て・教育など)	3	1	4	3	14	15	3	1	44
その他	4	5	8	6	4	10	19	0	56
無回答	0	0	1	2	1	3	3	0	10
計	56	87	129	164	193	231	177	3	1,040

問4-3 どこから引っ越してきたか

回答者が今の居住地にどこから引っ越してきたかをみると、「埼玉県内」が最も多く 411 票（40%）、次いで「川越市内」が 235 票（23%）、「東京都」が 154 票（15%）である。

この傾向は、年齢別にみてもおおむね同様である。

		(票)	(%)
1	川越市内	235	22.6
2	埼玉県内	411	39.5
3	東京都	154	14.8
4	千葉県	18	1.7
5	神奈川県	31	3.0
6	その他	120	11.5
7	無回答	71	6.8
	計	1,040	100.0



<年齢別>

(票)

	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回答	計
川越市内	17	22	33	30	38	61	34	0	235
埼玉県内	22	29	51	73	81	85	69	1	411
東京都	2	13	20	19	31	31	37	1	154
千葉県	1	3	3	4	2	1	4	0	18
神奈川県	2	1	4	8	6	7	3	0	31
その他	10	14	15	21	19	22	18	1	120
無回答	2	5	3	9	16	24	12	0	71
計	56	87	129	164	193	231	177	3	1,040

問4-4 なぜ川越に住もうと思ったか

川越に住もうと思った理由をみると、「親や親戚、または、知人や友人が近くにいる」が最も多く 410 票 (39%)、次いで「職場や学校への交通の便が良い」が 352 票 (34%) である。

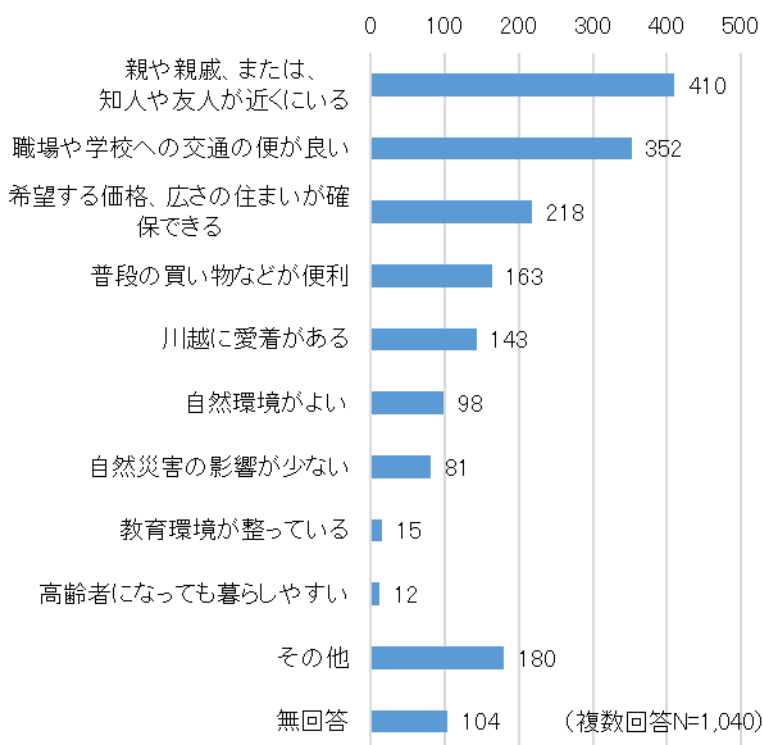
年齢別にみると、どの年代も、「親や親戚、または、知人や友人が近くにいる」及び「職場や学校への交通の便が良い」が上位を占める。

複数回答 N=1,040 (票) (%)

順位	理由	票数	割合 (%)
1	親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	410	39.4
2	職場や学校への交通の便が良い	352	33.8
3	希望する価格、広さの住まいが確保できる	218	21.0
4	普段の買い物などが便利	163	15.7
5	川越に愛着がある	143	13.8
6	自然環境がよい	98	9.4
7	自然災害の影響が少ない	81	7.8
8	教育環境が整っている	15	1.4
9	高齢者になっても暮らしやすい	12	1.2
10	その他	180	17.3
11	無回答	104	10.0

※複数回答のため、割合の合計は 100.0% にはならない。

問4-4 川越に住もうと思った理由



<年齢別>

(票)

	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45歳以上	無回答	計
親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	16	38	53	60	85	96	61	1	410
職場や学校への交通の便が良い	16	27	48	63	67	67	62	2	352
希望する価格、広さの住まいが確保できる	8	9	26	44	40	60	31	0	218
普段の買い物などが便利	1	13	22	24	32	35	35	1	163
川越に愛着がある	6	10	18	22	25	31	31	0	143
自然環境がよい	2	5	11	5	25	31	19	0	98
自然災害の影響が少ない	4	1	8	14	21	19	14	0	81
教育環境が整っている	0	2	0	2	3	4	4	0	15
高齢者になっても暮らしやすい	1	0	1	1	1	3	5	0	12
その他	14	21	23	25	29	31	37	0	180
無回答	7	8	9	13	19	31	17	0	104

問 4-5 川越に住み続けたいか

本市への定住意向をみると、「住み続けたい」が 838 票（64%）と最も多く、「就職や結婚などで一時は引っ越しても、また戻りたい」86 票（7%）とあわせると、約 7 割が川越に住み続けることを希望していることが分かる。

この傾向は、年齢別にみても同様である。

		(票)	(%)
1	住み続けたい	838	64.1
2	就職や結婚などで一時は引っ越しても、また戻りたい	86	6.6
3	住み続けるか引っ越しをするか迷っている	263	20.1
4	川越市外に引っ越しをしたい	99	7.6
5	無回答	21	1.6
	計	1,307	100.0

<年齢別>

(票)

	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45 歳 以上	無回答	計
住み続けたい	52	57	95	132	161	189	150	2	838
就職や結婚などで一時は引っ越しても、また戻りたい	20	20	15	9	12	3	7	0	86
住み続けるか引っ越しをするか迷っている	20	35	40	47	39	49	33	0	263
川越市外に引っ越しをしたい	11	16	14	17	13	17	10	1	99
無回答	4	1	1	2	3	3	5	2	21
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

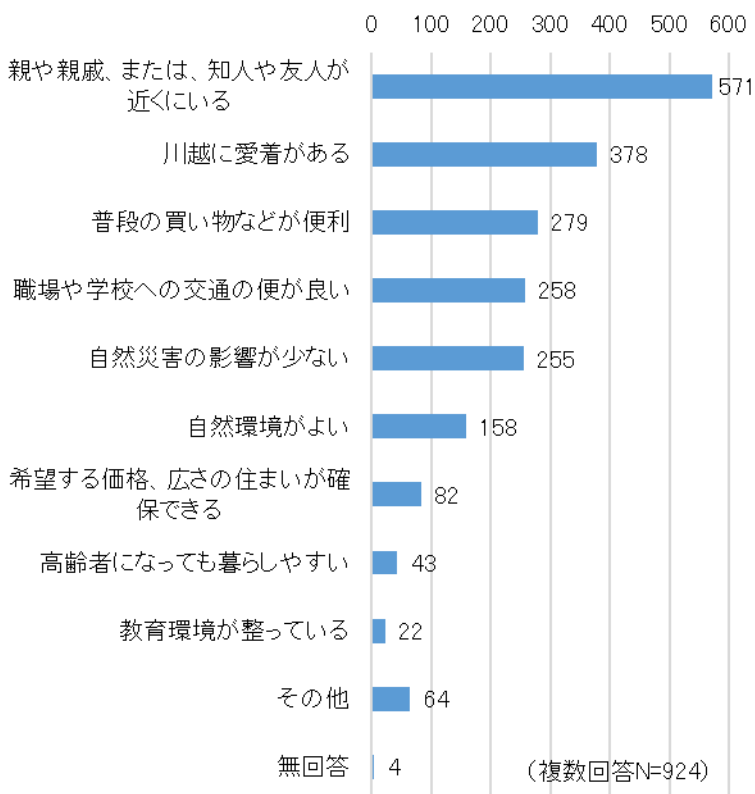
問4-6 「住み続けたい」「また戻って来たい」理由

「住み続けたい」「また戻って来たい」理由をみると、「親や親戚、または、知人や友人が近くにいる」が最も多く 571 票（62%）、「川越に愛着がある」が 378 票（41%）である。

この傾向は、年齢別にみても同様である。

	複数回答 N=924	(票)	(%)
1	親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	571	61.8
2	川越に愛着がある	378	40.9
3	普段の買い物などが便利	279	30.2
4	職場や学校への交通の便が良い	258	27.9
5	自然災害の影響が少ない	255	27.6
6	自然環境がよい	158	17.1
7	希望する価格、広さの住まいが確保できる	82	8.9
8	高齢者になっても暮らしやすい	43	4.7
9	教育環境が整っている	22	2.4
10	その他	64	6.9
11	無回答	4	0.4

問4-6 「住み続けたい」「また戻って来たい」理由



※複数回答のため、割合の合計が 100.0%にはならない。

<年齢別>

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	52	57	70	85	98	118	89	2	571
川越に愛着がある	33	31	54	55	65	75	64	1	378
普段の買い物などが便利	13	22	44	42	56	53	49	0	279
職場や学校への交通の便が良い	18	22	24	38	62	55	39	0	258
自然災害の影響が少ない	22	18	25	36	43	60	50	1	255
自然環境がよい	14	10	18	19	32	35	30	0	158
希望する価格、広さの住まいが確保できる	1	0	9	19	19	24	10	0	82
高齢者になっても暮らしやすい	4	4	2	3	7	10	13	0	43
教育環境が整っている	2	1	2	5	3	5	4	0	22
その他	2	4	6	16	12	14	11	0	65
無回答	0	0	0	1	1	1	1	0	4

問4-7 どのような条件が整えば、川越市に住みたいか

問4-5において「住み続けるか引っ越しをするか迷っている」、「川越市外に引っ越しをしたい」と回答した方に対し、「どのような条件が整えば、川越市に住みたいか」を聞いたところ、「希望する価格、広さの住まいが確保できる」が最も多く127票(35%)、次いで「徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている」が96票(27%)である。

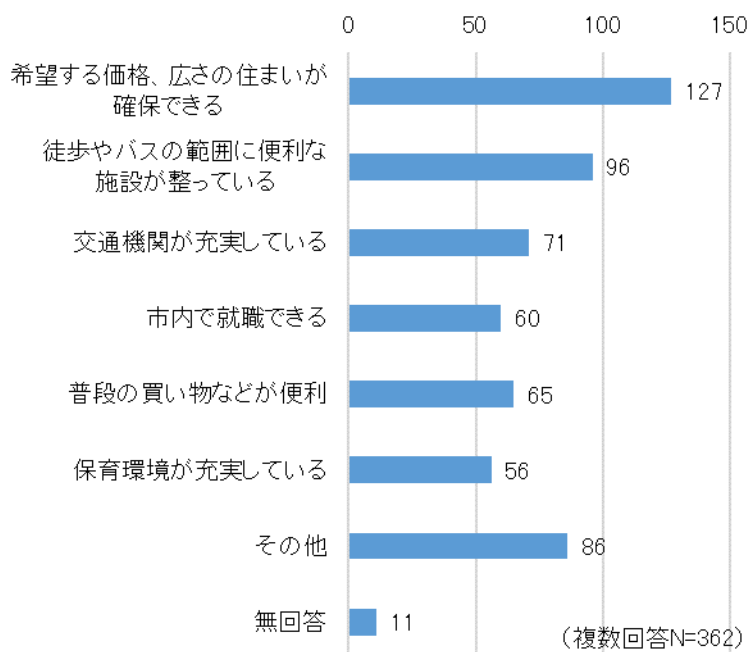
年齢別にみると、15～24歳では「徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている」が最も多く、25歳以上では「希望する価格、広さの住まいが確保できる」が最も多い。

複数回答 N=367 (票) (%)

順位	条件	票数	割合
1	希望する価格、広さの住まいが確保できる	127	35.1
2	徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている	96	26.5
3	交通機関が充実している	71	19.6
4	市内で就職できる	60	16.6
5	普段の買い物などが便利	65	18.0
6	保育環境が充実している	56	15.5
7	その他	86	23.8
8	無回答	11	3.0

※複数回答のため、割合の合計が100.0%にはならない。

問4-7 どのような条件が整えば、川越市に住みたいか



<年齢別>

(票)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
希望する価格、広さの住まいが確保できる	10	14	22	25	17	25	14	0	127
徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている	12	18	12	14	10	17	13	0	96
交通機関が充実している	6	13	14	12	4	11	11	0	71
市内で就職できる	9	10	7	8	10	9	7	0	60
普段の買い物などが便利	6	9	11	11	6	11	11	0	65
保育環境が充実している	2	5	17	16	9	6	1	0	56
その他	5	10	7	15	21	16	12	0	86
無回答	0	3	1	3	1	2	0	1	11

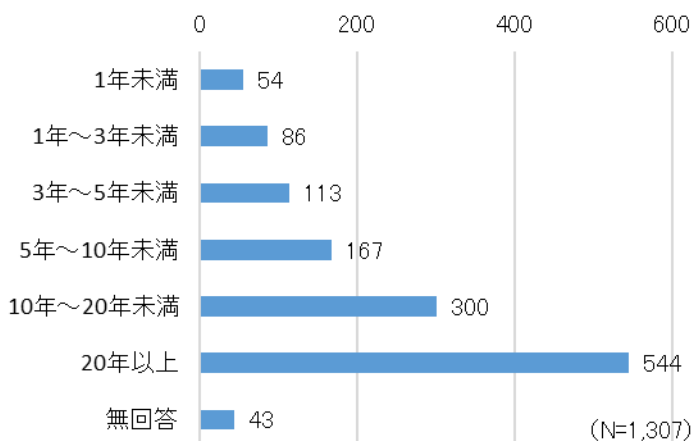
問4-8 川越市に住み始めて何年か

本市での居住年数をみると、「20年以上」が最も多く544票（42%）、次いで「10年～20年未満」が300票（23%）となっており、居住年数が10年以上の回答者が多い。

年齢別にみても同様であり、各年代で「20年以上」が最も多い（15～19歳では「10～20年未満」が最も多い）。

問4-8 川越市に住み始めてからの期間

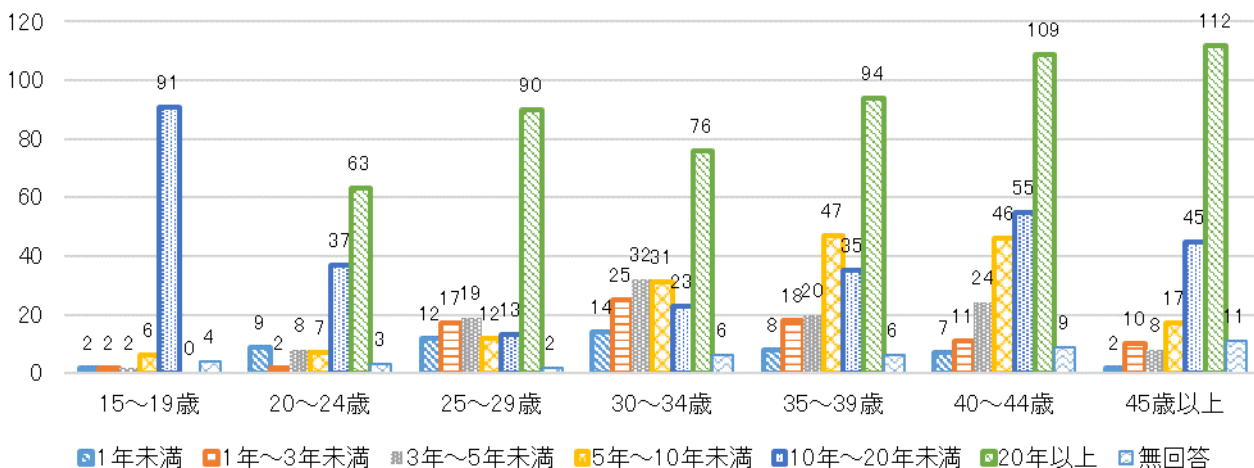
	(票)	(%)
1 1年未満	54	4.1
2 1年～3年未満	86	6.6
3 3年～5年未満	113	8.6
4 5年～10年未満	167	12.8
5 10年～20年未満	300	23.0
6 20年以上	544	41.6
7 無回答	43	3.3
計	1,307	100.0



<年齢別>

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	無回答	計
1年未満	2	9	12	14	8	7	2	0	54
1年～3年未満	2	2	17	25	18	11	10	1	86
3年～5年未満	2	8	19	32	20	24	8	0	113
5年～10年未満	6	7	12	31	47	46	17	1	167
10年～20年未満	91	37	13	23	35	55	45	1	300
20年以上	0	63	90	76	94	109	112	0	544
無回答	4	3	2	6	6	9	11	2	43
計	107	129	165	207	228	261	205	5	1,307

(年齢別)問4-8 川越市に住み始めてからの期間



問 4-9 川越に住んでみて良かったこと（自由回答）

たくさんの意見の中でも特に「住環境の良さ」「歴史的な町の良さ」「商業の充実」「交通環境の充実」などの意見が多くみられた。

また、それらがバランスよくあること、市民として誇りを感じられる町であることについても、意見が多くみられた。

■住環境が良い

ご意見（一部抜粋・要約）
自然災害がないので、避難生活を強いられる事なく家族で暮らせること。
子どもが遊べる公園がいくつかあること。
自然が豊かだが生活に不便な点が少なく、病院やスーパーなどが近くにあり、生活しやすい。
ほどほどに店があり、緑があって住みやすい。
中心市街地には百貨店もあり、東京に行かなくても不便なく買い物ができ、市街地から離れると自然があり住みやすい。
交通の便が良く、買い物が便利である。
歴史ある街で、新しい施設もあり、充実した毎日が送れる。
都会でも田舎でもなく、とても住みやすい。
住宅街は静かだったこと。
夜の月明かりがきれいだったこと。東京のような 24 時間動きっぱなしの明るさも必要な人はいるだろうが、昼と夜がしっかり区別されていて、生活のリズムが崩れないので良いと思う。
職場が近い、環境が良い、住みやすい。
公園が多く、混んでいない（以前居住していたところは、公園は混んでおり、遊ぶ場所がなかった）。
近隣の住民もつかずはなれずであり、会えば気持ちよく挨拶して深入りはしてこない。
高齢の方のみの家があれば周りの家がフォローするというような事があるので、良いと思う。

■歴史的な町が良い

ご意見（一部抜粋・要約）
川越まつりがあること。
川越まつり、小江戸川越春まつり、川越百万灯夏まつりといった地域に親しむお祭りが多く楽しい。
蔵造りの町並みが素敵である。
川越まつり、蔵造りの町並み、菓子屋横丁など、歴史的観光の場所があるため、ある程度の認知度がある。
身近に歴史的建築物などがあったり、川越は誰にでも自慢できる。
古い町なのでお寺や神社が沢山あり、川越まつりでは本物の文化価値のある山車やお囃子といったものにふれる機会があるので、子供たちにとっても素晴らしい経験になって良いと思う。
祭りや花火など毎年楽しめるものがあるのも、住み続けている理由のひとつである。
歴史が古く良い伝統文化に恵まれ、市民の民度が高いと感じられる点。
小さな時から家族で見た川越まつりや町並みを、自分の子供にも将来見せてあげたいと思える街である。
蔵造りの町並みが好きなので他の県や市に住んでいる人に自慢できるし誇りである。
時の鐘や蔵造りなど、歴史ある街に住んでいる事に誇りを感じる。
現在住んでいる場所からそのような観光地へ歩いていける所も気に入っている。

■商業が充実している

ご意見(一部抜粋・要約)
いろいろな店がたくさんあり、わざわざ遠出しなくても欲しい物が手に入る。
商店街や商業ビルがコンパクトな形で集約されているので、普段の生活に困らない。子供がいると都内へは出にくいので、ある程度の買い物が市内の狭い範囲で済むので非常に助かる。
美味しい飲食店が多い。

■交通環境が充実している

ご意見(一部抜粋・要約)
都市、地方への交通の便が比較的良い。
交通の便が良い。国道 16 号、254 号がある。関越道のICがある。
JRや私鉄(東武、西武)の乗り入れがある。
公共交通機関が充実している。特に現在住んでいる所は 3 つの路線(JR、東武、西武)が使い、市内のバスも川越駅と本川越駅からと使用できる。

■豊かな自然が良い

ご意見(一部抜粋・要約)
水田地帯の中で、自然に恵まれた静かな環境である。
自然が豊かであること。
富士山が見える。
畑や田んぼが多く、動植物とのふれあいができる。

■子育て環境の良さ

ご意見(一部抜粋・要約)
幼稚園や小学校が家から近く、安心である。
子どもの医療費が無料である。
子育てするにはちょうど良い自然がある。

■その他

ご意見(一部抜粋・要約)
友達と気軽にいつでも会えるところ。
川越は古い街の観光地なので、海外の人や他の地域の人との出入りが多いので、他の土地から来る人に対して抵抗感がないところ。
川越で生まれたので愛着がある。
観光地になり有名になったこと。
知名度が上がり、海外の友達も川越に一日旅行に来たいと言ってくれるようになった。
親や知人、友人が近くにいる。
都会と田舎を併せ持っているところ。
近場の学校に就学できたこと。
東京オリンピックのゴルフ競技が開催されるため、海外との交流が期待できる。
小江戸川越ハーフマラソンがある。

(5) その他自由意見

問5 その他自由意見

「雇用や就労環境」「結婚、出産、子育て」についての意見が多く見られた。「雇用や就労環境」では結婚、子育ての前提条件として安定した雇用環境や収入の確保などについての意見が、「結婚、出産、子育て」では、保育環境の充実などについての意見が多い。

また、「観光交流や商業環境」「生活環境」についての意見も多く、さらなる観光交流の促進に向けたアイデアや、交通環境や子どもの遊び場などの改善や充実についての意見が出されている。

■雇用や就労環境について

ご意見(一部抜粋・要約)
子どもがいても参観日で休んだりするのを会社が嫌がらず休ませてくれたり、融通が利くと、もっと働ける人が増えると思う。
非正規雇用は収入が安定しないため、結婚できない、子どもをもうけられない若者が増えている。
どのような職についても、仕事をしながら出産、育児、介護ができる社会にしてほしい。
出産、育児で一度退職した女性が正社員で復帰できるように、企業に働きかけてほしい。 パートやアルバイト、派遣社員でも、正社員と変わらない待遇をしてもらえるようにしてほしい。
若い人が気軽に参加できる農業体験など(収穫した野菜でおしゃれなカフェの経営など)、20代や30代の力も生かしていけたら、川越はもっと発展すると思う。
空き家や空き地をもっと低価格で取得できるようにして、起業しやすい環境を整備してほしい。
元気な高齢者が仕事を続け、税金の世話に甘んじることのない高齢化社会を目標としてほしい。
仕事の面で正社員に雇用されない場合でも福利厚生に加入できるような環境が必要だと思う。
企業誘致の努力は必要だと思う。
川越で働き暮らす人を増やしたいのであれば、まず交通の面を何とかするべきだと思う。
ブラックな起業は健全な家庭生活を営むことを阻害する。

■結婚、出産、子育てについて

ご意見(一部抜粋・要約)
不妊治療は治療費がネックになり、長期化すると子供を諦めざるをえなくなる事もあるので、少しでも支援があれば少子化の減少を止められるのではと切に思う。
親戚は皆遠方のため、どこにも頼る事ができず、仕事も少しずつの復帰ではなくフルで働かないと保育園にすら入れないとなると、仕事と家庭の両立ができるか不安である。
川越市は待機児童がいるので子どもが産まれてからすぐに保育園に預けられるか分からないと聞いたことがある。保育の環境次第では近隣の市に引っ越すことも検討しなければと考えている。
幼い子どもを抱えての再就職に大きな壁を感じるため、職場の理解や保育環境の充実など、さまざまな方面からその壁が解消されることを望む。
家以外で子どもたちが安心して暮らせる(過ごせる)場所が保育所や小学校以外で、休日にも使用できるようなところがあれば良い。
地域を良くするのはまず教育だと思うので、観光ばかりではなく教育にもっと力を入れてほしい。 また、人を良くするのは食だと思うので、食育にもっと力を入れてほしい。
経済格差が学力に反映されていることもあるため、小中学校(義務教育)の土曜日授業を再開してほしい。
母子家庭が優先して暮らせる住居をあっせんしてほしい。
障害を持つ子どもの医療が充実していなく、とても不安である。健康な子どもだけでなく、子どもを増やしてほしいなら、そういう面まで考慮すると良いと思う。
子育て環境がもう少し整ってほしい。例えば、他市では妊娠した方にバッグや子育てに必要な品等を配布していることもあり、そのようなものが川越市でもあるとありがたい。

■観光交流、商業環境について

ご意見(一部抜粋・要約)
一番街で朝から(9時頃)開店しているお店が少ないので、もったいないと思う。 外国人ツアーの人たちは特に早い時間帯に来ているので、工夫したら良いと思う。
川越ならではのイベントを作り、それを目当てに来る人を増やしたほうが良い。
蔵の町の観光化を徹底してほしい。例えば、土日は完全な歩行者天国にしたり、平日は時間を決めて車両の出入を管理したりするなどしないと、ゆっくり歩くことができない。
川越市のマスコットキャラクターのときもは他の市に比べてかわいくて癒されるので、もっとグッズやゆるキャラ(ご当地キャラ)の大会などに出場して、川越市の活性化に生かしたほうが良いと思う。
川越の城下町をもう少し生かしたらいいと思う。大々的にタイムスリップできるような感じにしたら、若い観光客も来るかもしれない。
山車のない地域の人も祭りに参加できるシステムがあると、市民同士のつながり、一体感がより深まると思う。山車以外でも郊外の人が何か参加できるシステムがあると良い。
観光地としては有名だが観光客は日帰りであるため、もう少し泊まってもらえるよう、宿を作ってみても良いと思う。
さらに知名度を上げるため観光名所を増やし、丸一日そこで楽しめるような場所になれば良いと思う。
ウエスタ川越を利用し、色々な文化交流をできる場が増えると良い。
川越ならではの何か特産物、代表する産業など特化するものがあると良い。
観光の玄関口としての本川越駅前の商業化の方向性に疑問を感じている。 駅から一番街までの導線となる新富町～連雀町がまだまだ弱いと思う。
商業施設は便利というにはもの足りなさを感じる。

■生活環境について

ご意見(一部抜粋・要約)
「川越らしさ」を突き詰めて、独自性が持続できる、市民がそれを生活の中で実感できると良いと思う。
低所得者に対する支援があると良いと思う。
将来のことを考えることは難しいので、夢を持てるような仕事での環境整備が必要だと思う。
子どもが遊べる、子どもを遊ばせる場所が少ない。連休などはいつも県外に行くことになってしまう。
子どもたちが安全、安心して成長していけるような地域環境が必要。
川越を支える若い人が住む住環境を整える事が重要だと思う。
お年寄りと子どもの交流の場を作り、沢山の経験をされたお年寄りから色々な話を聞いたほうが良いと思う。
災害に強い街づくりし、住民の災害への不安を払拭してほしい。ゲリラ豪雨などで道路が冠水し、家に浸水しそうで怖い。
横の移動や市内の渋滞がひどいので、県を挙げて良い県にしてほしい。
歩道等の道路の整備を充実してほしい。歩いていると歩道が狭いところが多い。車に乗っていても歩行者、自転車との並走に恐怖を感じる。 また、市内の幹線道路以外のバスの本数や範囲を増やして欲しい。
駅周辺に緑があふれる市民憩いの公園を作してほしい。
クリアモールの夜間の治安があまり良くないと感じる。 観光も良いが、住んでいる人にもっと住みやすい街づくりをお願いしたい。

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定にあたってのアンケート調査

日頃より、市政にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成 26 年 11 月より「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、全国の市町村はそれぞれ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を求められています。

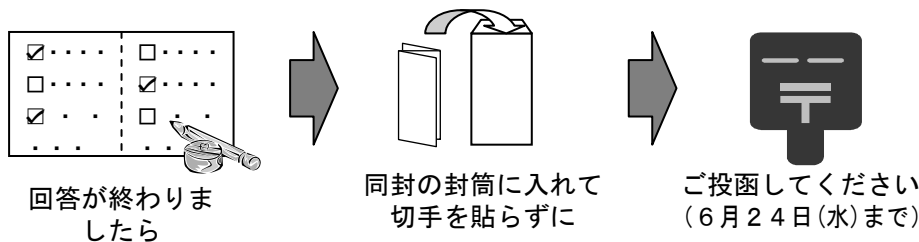
川越市も平成 27 年度中に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「川越で育ち、働き、暮らす」ための施策を進めていきます。

このたび、戦略の策定に際し、市民の皆さまの結婚・出産・子育て、就労、住まいに関する意向を把握するための調査を行い、基礎資料として活用させていただきます。調査結果は、統計的にのみ使用することとし、個人が特定されたり、他の目的に使われたりすることはありませんので、ありのままお答えください。

お忙しいところ、大変恐縮ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

【参考】国の基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する



ポストへの投函は、平成 27 年 6 月 24 日 (水) までにお願ひします

【問合せ】

川越市 政策財政部 政策企画課 政策調整担当
住 所：〒350-8601 川越市元町1-3-1
電 話：049-224-5503 FAX：049-225-2895
E-mail：seisakukikaku@city.kawagoe.saitama.jp



川越市マスコットキャラクター
ときも

1. 回答者の方についてお答えください。

問1-1 (全員) あなたの居住地を教えてください。あてはまるもの1つに○を付けてください。地区名は、お送りした封筒のあて名右上に表示されています。

1 本庁地区	2 芳野地区	3 古谷地区
4 南古谷地区	5 高階地区	6 福原地区
7 大東地区	8 霞ヶ関地区	9 霞ヶ関北地区
10 名細地区	11 山田地区	12 川鶴地区

問1-2へ

問1-2 (全員) あなたは男性ですか、女性ですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 男性	2 女性
------	------

問1-3へ

問1-3 (全員) 平成27年1月1日現在、あなたの年齢はいくつですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 15～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳
4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳
7 45歳以上	問1-4へ	

問1-4 (全員) あなたの現在の世帯構成についてあてはまるもの1つに○を付けてください。

1 単身世帯	2 夫婦のみ	3 2世代同居
4 3世代同居	5 その他	問1-5へ

問1-5 (全員) あなたにはお子さんが何人いますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 いない 問1-7へ	2 1人 問1-6へ	3 2人 問1-6へ
4 3人 問1-6へ	5 その他() 問1-6へ	

問1-6 (問1-5で、お子さんがいらっしゃる方) 平成27年4月2日現在、あなたのお子さんについてあてはまるもの1つに○を付けてください。お子さんが2人以上の場合は、1番年齢が下のお子さんについて、あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 就学前(0～5歳)	2 小学生	3 中学生
4 高校生	5 大学生・専門学校	6 その他()

問1-7へ

問1-7 (全員) あなたの職業は何ですか。2つ以上当てはまる方は、主として従事しているもの1つに○を付けてください。学生の方でアルバイトをしている方は、「学生」に○を付けてください。

1 経営者、役員(自営業含む) 問1-8へ	2 正社員、正職員 問1-8へ	3 派遣社員 問1-8へ
4 パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託 問1-8へ	5 学生 問1-11へ	6 専業主婦(夫) 問1-13へ
7 仕事はしていない 問1-13へ		

問1-8 (問1-7で、1~4に○を付けた方) あなたが従事している職業の業種は何ですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 農業	2 建設業	3 製造業
4 流通・運輸業	5 小売業	6 金融業
7 不動産業	8 飲食業	9 医療、福祉
10 教育、学習支援	11 サービス業	12 公務
13 その他()		問1-9へ

問1-9 (問1-7で、1~4に○を付けた方) 勤務日についてあてはまるもの1つに○を付けてください。

1 平日の週5日程度、勤務している	2 土日、祝日を含む週5日程度、勤務している	3 平日の週3~4日程度、勤務している
4 土日、祝日を含む週3~4日程度、勤務している	5 週1~2日、勤務している	問1-10へ

問1-10 (問1-7で、1~4に○を付けた方) 勤務時間帯についてあてはまるもの1つに○を付けてください。

1 主に昼間の時間帯である	2 夜勤がある(夕方~深夜、早朝)	3 シフト制など勤務時間帯が変則的である
---------------	-------------------	----------------------

問1-11へ

問1-11 (問1-7で、1~5に○を付けた方) あなたの職場や学校の場所はどこですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。2つ以上あてはまる方は、主として従事している職場や学校の場所をお選びください。

1 川越市内	2 埼玉県内(市・町・村)	3 東京都(区・市・町・村)
4 千葉県(市・町・村)	5 神奈川県(市・町・村)	6 その他()

問1-12へ

問1-12 (問1-7で、1~5に○を付けた方) あなたの通勤・通学にかかる時間はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 自宅で仕事をしている(通信制学校等自宅学習を含む)	2 30分未満	3 30分~1時間未満
4 1時間~1時間30分未満	5 1時間30分~2時間未満	6 2時間以上

問1-13へ

問1-13 (全員) 現在のお住まいは、次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 持ち家・家族の持ち家(1戸建て)	2 持ち家・家族の持ち家(マンションなどの集合住宅)	3 賃貸住宅(1戸建て)
4 賃貸住宅(マンション、アパートなどの集合住宅)	5 社宅・寮	6 その他()

問2-1へ

2. 結婚や出産、子育てについてお答えください。

問2-1 (全員) あなたは結婚していますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 結婚している 問2-4へ	2 結婚したが、死別・離別した 問2-2へ	3 結婚していない 問2-2へ
-------------------	--------------------------	--------------------

問2-2 (問2-1で、2、3に○を付けた方) 結婚について、あなたのお気持ちに近いもの1つに○を付けてください。

1 いずれ結婚したい、あるいはするつもりである 問2-3へ	2 今はわからない 問2-3へ	3 結婚するつもりはない 問2-4へ
----------------------------------	--------------------	-----------------------

問2-3 (問2-2で、1、2に○を付けた方) 結婚をするためには、どのようなことが必要だと思いますか。3つまで○を付けてください。

1 出会いの場や機会がある	2 結婚資金が確保できる	3 安定した仕事に就いている
4 結婚しても仕事や学業を続けられる	5 結婚して住む家を確保できる	6 結婚後も自由な時間を持つことができる
7 その他()		

問2-4へ

問2-4 (全員) 仮に、あなたが子どもを授かるとしたら、何人持つのが理想だと思いますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 0人(子どもはいらない)	2 1人	3 2人
4 3人	5 その他()人	問2-5へ

問2-5 (全員) 現在の出産や子育て環境に対する満足度について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらともいえない
4 どちらかといえば不満	5 不満	6 分からない

問2-6へ

問2-6 (全員) 今後、出産や子育て環境を改善していくにあたり、どのような取組が必要だと思いますか。特に必要だと思うもの3つまで○を付けてください。

1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	2 育児休業の取得や復職・再就職支援などの職場環境の整備	3 保育料軽減や学費の補助などの経済的負担の軽減
4 多子世帯への支援	5 子どもの学習・教育環境の充実	6 妊娠・出産・子育てへの総合的な相談体制の充実
7 保育環境の充実	8 生命の大切さ、家庭や地域の大切さ等の価値観の醸成	9 医療費負担の軽減
10 その他()		

問3-1へ

3. 就職、転職、再就職・起業の意向についてお答えください。

問3-1 (全員) 今後の就業について、あなたのお考えにあてはまるもの1つに○を付けて下さい。現在学生の方は、卒業後、就職を希望する場合は「3」、起業したい場合は「4」、就職を希望しない場合は「5」を選択してください。

1 現在の職場で働き続けたい 問3-2へ	2 転職したい 問3-2へ	3 現在は仕事に就いていないが、今後仕事に就きたい 問3-2へ
4 いずれ起業したい 問3-6へ	5 現在は仕事に就いておらず、今後も仕事をするつもりはない 問4-1へ	

問3-2 (問3-1で、1~3に○を付けた方) あなたが仕事において求める条件は何ですか。あてはまるもの2つまで○を付けてください。

1 希望する業種である	2 収入面	3 通勤しやすい場所
4 自分の経験や資格が生かせる	5 充実した福利厚生	6 仕事と生活の両立が図れる
7 子育てに理解のある企業	8 その他()	

問3-1で「1」を選んだ方は問4-1へ、「2」「3」を選んだ方は問3-3へ

問3-3 (問3-1で、2、3に○を付けた方) 就職、転職、再就職をする際、川越市内で就職したいと思いませんか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 思う 問3-4へ	2 思わない 問3-5へ
---------------	-----------------

問3-4 (問3-3で、1に○を付けた方) 川越市内での就職、転職、再就職において、希望する業種はありますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 農業	2 建設業	3 製造業
4 流通・運輸業	5 小売業	6 金融業
7 不動産業	8 飲食業	9 医療、福祉
10 教育、学習支援	11 サービス業	12 公務
13 こだわらない	14 その他()	

問4-1へ

問3-5 (問3-3で2に○を付けた方) どのような環境条件が整えば、川越市内の企業への就職を希望しますか。あなたのお気持ちに特に近いもの2つまで○を付けてください。

1 自分の経験や資格を生かせる	2 社会貢献度の高い企業がある	3 大都市との賃金条件に差がない
4 仕事と生活の両立が図れる	5 結婚、出産後も働くことができる	6 キャリアアップに力を入れている
7 その他()		

問4-1へ

問3-6 (問3-1で、4に○を付けた方) 起業する場所は、川越市内を希望しますか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 川越市内を希望	2 川越市以外を希望	3 特に決まっていない
-----------	------------	-------------

問4-1へ

4. 住まいに関する意向についてお答えください。

問4-1 (全員) あなたは、生まれたときから今の居住地に住み続けていますか、それとも途中で今の居住地に引っ越して来ましたか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 生まれたときから今の居住地に住み続けている 問4-5へ	2 途中で今の居住地に引っ越して来た 問4-2へ	3 Uターンして帰ってきた 問4-2へ
-------------------------------	--------------------------	---------------------

問4-2 (問4-1で、2、3に○を付けた方) あなたが今の居住地に引っ越すことになったきっかけは何ですか。1番近いものを1つだけお答えください。

1 実家のため(同居のため、親の介護など)	2 仕事や進学のため(親や自分の転勤など)	3 結婚のため(相手方や新居への引っ越しなど)
4 子供のため(出産・子育て・教育など)	5 住まいのため(住み替え・家の購入など)	6 その他()

問4-3へ

問4-3 (問4-1で、2、3に○を付けた方) 今の居住地には、どちらから引っ越して来られましたか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 川越市内() ※地区名が不明の場合は、町名等をお書きください。(例)川鶴1丁目	2 埼玉県内() ()市・町・村	3 東京都() ()区・市・町・村
4 千葉県() ()市・町・村	5 神奈川県() ()市・町・村	6 その他()

問4-4へ

問4-4 (問4-1で、2、3に○を付けた方) なぜ川越に住もうと思われましたか。その理由としてあなたのお気持ちに特に近いものに3つまで○を付けてください。

1 親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	2 高齢者になっても暮らしやすい	3 教育環境が整っている
4 職場や学校への交通の便が良い	5 自然環境がよい	6 普段の買い物などが便利
7 川越に愛着がある	8 自然災害の影響が少ない	9 希望する価格、広さの住まいが確保できる
10 その他()		

問4-5へ

問4-5 (全員) あなたは川越市に住み続けたいですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1 住み続けたい 問4-6へ	2 就職や結婚などで一時は引っ越しても、また戻りたい 問4-6へ	3 住み続けるか引っ越しをするか迷っている 問4-7へ
4 川越市外に引っ越しをしたい 問4-7へ		

問4-6 (問4-5で、1、2に○を付けた方) 「住み続けたい」「また戻って来たい」理由についてあなたのお気持ちに特に近いものに3つまで○を付けてください。

1 親や親戚、または、知人や友人が近くにいる	2 高齢者になっても暮らしやすい	3 教育環境が整っている
4 職場や学校への交通の便が良い	5 自然環境がよい	6 普段の買い物などが便利
7 川越に愛着がある	8 自然災害の影響が少ない	9 希望する価格、広さの住まいが確保できる
10 その他()		

問4-8へ

問4-7 (問4-5で、3、4に○を付けた方) どのような条件を整えば、川越市に住み続けたいですか。
 あなたのお気持ちに特に近いものを2つまで○を付けてください。

1 希望する価格、広さの住まいが確保できる	2 保育環境が充実している	3 市内で就職できる
4 徒歩やバスの範囲に便利な施設が整っている	5 普段の買い物などが便利	6 交通機関が充実している
7 その他()		

問4-8へ

問4-8 (全員) 川越市に住み始めてからの期間はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○を付けてください。Uターンして帰ってきた方は、前に住んでいた期間とあわせてお答えください。

1 1年未満	2 1年～3年未満	3 3年～5年未満
4 5年～10年未満	5 10年～20年未満	6 20年以上

問4-9へ

問4-9 (全員) 川越に住んでみて、良かったことはどんなことですか。ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

5. その他、ご意見があればご自由にお書きください。

みなさまの貴重なご意見は、総合戦略の策定の参考とさせていただきます。

A large rectangular box with a solid border, containing 15 horizontal dashed lines for writing.

ご協力いただきありがとうございました。